

夏休み 子ども体験

新喜劇

ワークショップ
全3日間

2022年8月5日(金)~7日(日)

時間 13:00~16:00

場所 札幌市教育文化会館 研修室 401

なつやす きげき つく
夏休みはみんなと喜劇を作ってみませんか？

ちようせん
ノリツッコミやアドリブにも挑戦！

まな わら はっぴょうかい
学んだ笑いのテクニックをいかして発表会をしよう！

こせい きげき おもしろ
みんなの個性が喜劇を面白くするよ！

<プロフィール>



講師
すながわ かずしげ
砂川 一茂
(放送作家)

1959年、大阪市出身。「よしもと新喜劇」創成期に活躍した吉本興業文芸部の作家、竹本浩三氏に師事。舞台喜劇を学ぶ。1995年「阪神・淡路大震災」の年、仮設住宅で行った喜劇公演が、その後、自身の喜劇観を大きく変えることになる。38歳で札幌に移住。2006年には「笑い療法士の資格(3級)」を取得。道内各地で「笑いと健康」「職場と笑い」などをテーマに講演多数。2008年には札幌市教育文化会館主催の市民喜劇団「教文13丁目笑劇一座」の講師になる。現在、札幌~神戸・大阪などを中心に阪神・淡路大震災の教訓から「笑いと癒し」をテーマにした、誰にでも簡単に参加出来る「体験新喜劇」の普及に取り組む。NSC札幌校講師、キングオブコント札幌予選の審査員等も務める。共著に「ユーモアの即興から生まれる表現の創発~発達障害・新喜劇・ノリツッコミ~」(赤木和重 編著)

- ◆ 募集人数 10名 ※定員になり次第締め切ります。
- ◆ 対象 小学1年生~中学3年生 (ご家族の見学可)
- ◆ 申込方法 参加申込フォームからお申し込みください。
- ◆ 受講料 1,000円(保険料込) ※ワークショップ初日にお支払いいただきます。(3日間通し)

- ❗ ワークショップ実施中、記録用カメラが入ります。撮影した写真・ビデオは広報及び公開アーカイブとして使用いたします。
- ❗ マスク着用の上、動きやすい服装でのご参加をお願いいたします。
- ❗ 感染症対策にご協力ください。
- ❗ 主催者が定める規定による対象者を除き、受講料の払い戻しはいたしません。
- ❗ 当館にはお客様用の駐車場はございません。近隣の有料駐車場をご利用ください。

参加申込
フォームは
こちら！

申込開始日7月1日(金)から



お問い合わせ

札幌市教育文化会館 事業課
〒060-0001 札幌市中央区北1条西13丁目
TEL 011-271-5822 ※9:00~17:00 休館日を除く
HP <http://www.kyobun.org>